

豊橋 特別養護老人ホーム 大清水彩幸 施設だより

迎春! 節分豆まきで鬼退治

毎月の誕生日会に加え、季節を感じて頂ける催しを企画しています。お正月には書初めや福笑いをしたり、2月には豊橋のお祭りである「鬼祭り」を模したレクリエーションを行ったりと入居者様に楽しんで頂ける内容を行っています。

大清水特養では現在、介護の学校に通いながらアルバイトをしているミャンマーからの学生さんがいます。季節の行事など一緒に参加し、鬼の仮装をしてレクリエーションを盛り上げてくれました。「鬼は外〜!」の掛け声とともに笑顔で豆を巻く入居者様。心も体も活き活きして楽しんでいました。



「日本の節分行事を見たのは初めてだった」「ミャンマーでは水をかけるお祭りをしているよ」と、文化の違いを教えてくださいました。ミャンマーの水かけ祭りは今年あった悪いものを水で洗い流して新しい年を迎えるという意味があるそうです。

<学生さん>

豊橋・大清水 彩幸 特別養護老人ホーム グループホーム

豊橋 グループホーム 大清水彩幸 施設だより

2月の節分行事!鬼は外!福は内!です! 鬼に扮した職員に目掛けて、座ったまま投げる方もいれば、椅子から立ち上がり、紙玉を投げつける方もいました。これが意外と硬い紙玉なので、こりやたらまらんと、鬼も逃げますが、時には反撃も! 職員が入っていると分かっている、怖いですね。

Let's 鬼退治!



節分の豆まきが終われば、仲良く記念撮影。参加した入居者様も赤鬼・青鬼になった職員さんも、お疲れ様でした。来年も一緒に鬼退治を行いましょう!

豊川 彩幸 ケアハウス

豊川 ケアハウス豊川 彩幸 施設だより「人気のお茶会」

人気の「お茶会」では、有名なスイーツを準備して午後のカフェタイムを楽しんで頂いています。美味しいケーキを食べながら、自然に笑顔も溢れ、普段あまり交流の無い方同士でも会話が弾みますね。

令和6年4月から月に1回、(第2水曜日)午後1:30~3:30にて認知症カフェ「虹カフェ」をオープンします。認知症カフェは、認知症の予防や相談がしたい、認知症について知りたい、いろんな方の話を聞いてみたいなど、気軽に認知症に関する情報を得ることができます。

誰でも参加することができ、コーヒーを飲みながら、参加者の皆さんが主役になって自分らしく過ごすことができます。

体操やイベントなども通じてスムーズに交流が図れ、何でも相談できるカフェにしていきたいと思っています。



豊川 デイサービスセンター 豊川 彩幸 施設だより

豊川 デイサービスセンター 豊川 彩幸 施設だより

~利用者様が作る彩幸喫茶~

利用者様が作る彩幸喫茶をキャッチフレーズに定期的に開催しています。計量・具材切りから完成まで行います。作業中は利用者様同士で「私は目が悪いから切る方をやるから、あなた計るのをやって」と声を掛け合い協力されながら調理されています。

男性利用者様も活躍中!「家ではこんな事やらせてもらえないね」「料理なんかやったことないなあ」とお互いに家での様子を楽しく話される姿にほっこりとした気持ちになります。その他にもパン教室・料理教室を定期的に開催中!

料理ができるデイサービスはといえば「豊川彩幸」と定着できるように、これからも試行錯誤して行っていきます。



豊川 居宅介護支援事業所 豊川 彩幸 施設だより「趣味に触れるパートⅢ」

豊川 居宅介護支援事業所 豊川 彩幸 施設だより「趣味に触れるパートⅢ」

私たちケアマネジャーは多くの方と出会う機会があり、その方の趣味や特技など色々なお話を聞くことができます。今回ご紹介するのは松村利枝様(88歳)です。

通い始めたデイサービスに手芸教室があり、「私、不器用だからできるかしら」と笑いながら、周りの方と共に刺繍を始められました。毎回、道具(糸・針・図面など)を準備し、手元を照らすためのライトを灯してようやく作業開始です。集中して取り組み、片付けを含め1時間程の楽しい時間を過ごされます。事業所には作品レベルに応じた等級の見本が飾ってあり、上の等級を目指して日々作業に取り組まれています。毎年手芸グランプリ(作品展)に参加し、手芸教室の仲間や一般の方と作品の出来を競い、披露できる機会がある事も日々の意欲につながっているそうです。

デイサービス利用時に事業所を時々訪問します。手芸教室の仲間と職員を含めた雰囲気がとてもよく、お互いの作品を見て「すごく上手ね」「あなたすごいわね」など、声を掛けあえるのが、見ていてすごく素敵な関係だなと感じます。

すでに刺繍歴は10年程。今も「私、不器用だから上手にできるかしら」と笑って話す利枝さん。「上手に」と言う言葉に日々積み重ねてきた経験と向上心を感じます。これからも手芸教室の仲間と和気藹々とした雰囲気の中で刺繍を楽しみながら、続けてもらえると嬉しいです。(T)



令和6年度がスタートしました。今年には介護保険法の改正もあり、年度当初からドタバタしておりますが、より良い年度になることを期待したいですね~

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。 社会福祉法人豊生会 https://saikou.or.jp/ 【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011 【大清水彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 【豊川彩幸】豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

仁志

人はそれぞれの個性を持って生まれ ひとりとして同じ人生を歩む人はいない 生まれも育ちもちがう人達が集う施設だから 自分色の光を輝かせながら お互いの色を重ね合わせる虹のように ここで幸せの彩りを輝かせてほしい

社会福祉法人 豊生会 彩幸 https://saikou.or.jp/



理事長 原田 昭司

「どうする彩幸」

彩幸は、法人理念として

少子高齢化の波はいやおうなしに追いかけてきています。介護業界に限らず、この企業も人材確保が大きな課題となっております。介護は機械化では賄えないところが多く人の心の温もりが必要で、「介護は人なり」と言われているように人材確保は喫緊の課題です。近年の物価高騰や人件費のアップに加えて令和6年度の介護報酬改定では、若干のアップが見込まれるが以前に比べて状況が続くと思われ、さらに高齢者は増加しているのに入居待機者は減少している状況が続いています。これは2000年に介護保険制度が始まり民間営利企業が介護業界に参入し介護施設の増加と医療技術の進化によるものと思われ、そんな厳しい現実を乗り越えるのに「どうする彩幸」

○彩幸を利用して良かったと喜んでもらえる介護サービスの提供 ○活き活きと活力に溢れた明るい雰囲気のある職場作り ○地域とともにある地域のためになる施設の構築 ○3年前に導入したFTシステムや見守りセンサー「Eyes」の活用により利用者様の日々の暮らしの情報の共有化を図り、さらにご家族様からの要望や意見を職員に周知徹底し、その人その人に合った介護介助の提供に努めています。 △現在、コロナ禍でご家族様との面会は制限していますが、早く全面解除して以前のように施設内での生活を取り戻したい。 △職員一人ひとりが自覚と誇りを持って行動し、やりがいのある職場環境の確立を目指します。 △地域の人々が高齢者を感じられる職場環境の確立を目指します。 △利用者様の笑顔が求め、彩幸が求める「老舗介護施設作り」に繋がりの課題を解決する方策ではないかと考えています。

豊橋(西赤沢) 彩幸 ●特別養護老人ホーム ●ショートステイ ●デイサービスセンター ●軽費老人ホームケアハウス ●居宅介護支援事業所 ●地域包括支援センター 〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95 TEL.0532-23-6011 FAX.0532-23-6010

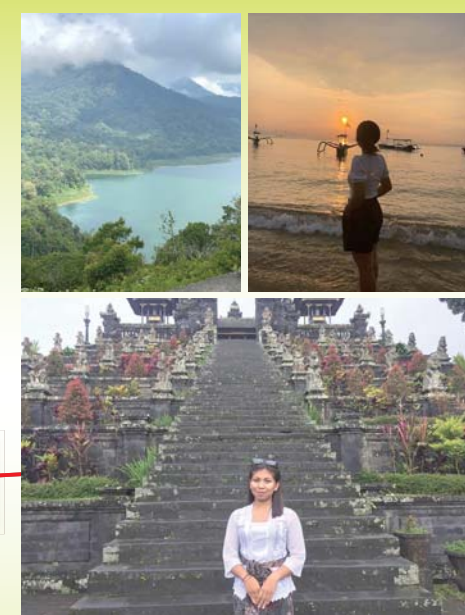
豊橋(大清水) 彩幸 ●地域密着型特別養護老人ホーム ●グループホーム 〒441-8131 豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 FAX.0532-25-3707

豊川 彩幸 ●軽費老人ホームケアハウス ●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所 〒442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 施設だより ~歓迎セレモニー~



この4月から入社予定の工カさん、スミアさんの歓迎セレモニーを行いました。インドネシアから来日し、福祉専門学校で学んだ後に入社されますが、すでに週末アルバイトとして働いており、利用者様にも顔なじみのお二人です。



自己紹介に始まりその後の質問コーナーでは、「高橋文哉くんが好き」「ディズニーランドに行きたい」「私はUSJがいい」など新たな一面を発見することが出来ました。小さい頃の夢は?との質問には二人とも「学校の先生になりたいかった」と少し方向は変わってしまいましたが、人と接する職業という点では介護も同じなので、この仕事を続けていってほしいです。続いて二人による「東京盆踊り」のダンス、先輩職員によるかくし芸など、介護士・看護師丸となって盛り上げてくれました。これからも歌って踊れる介護士を目指して頑張ってください(笑)

豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 ショートステイ 彩幸 施設だより

~季節の飾りつけとカレンダーの紹介~

施設玄関を入ると、季節に合わせた装飾が施され、毎年節分を過ぎると雛人形が飾られます。雛人形をご覧になりながら「娘のお雛様もまだ家にあるよ」と、利用者様同士で楽しそうにお話をされる様子も見られます。



フロアでは、毎月カレンダー作りも行っています。職員が、その月や季節に合わせてデザインを考え、利用者様と一緒に作成します。毎回利用者様それぞれの個性が出て、味のある作品ができて上がっていますよ。

豊橋 居宅介護支援事業所 彩幸 職員だより 共同事例検討会を開催しました

去る3月12日、他法人のケアマネジャーさんと、事例検討会・情報交換会を開催しました。この会も今回で8回目になります。今回は、私達彩幸が主催の会となりました。



多様化、複雑化する課題に対応するため、ケアマネジャーは高齢者だけでなく、他制度に関する知識を習得する事が求められています。そこで、今回の事例検討会のテーマは、「ヤングケアラー」。事例検討会を通じて、様々な意見が聞け、良かったと思うと同時に、事前に事業所内で検討した内容が、他法人のケアマネさん達と大きなズレがなかった事にホッとし、自信にもなりました。情報交換会では、令和6年度介護報酬改定について情報交換をし、働く場所は違えど、日々真剣に業務に取り組む同士、本音トークも飛び出し、楽しさのなかにも同志の存在を心強く感じる時間を過ごしました。

豊橋 彩幸 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 施設だより

キッズサポーターの誕生~豊南小学校編~

令和6年2月2日豊南小学校の3年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を行いました。認知症サポーター養成講座は、認知症を知りその病気を理解することで認知症の人とその家族への応援者=サポーターとなってもらうための講座です。豊南小学校では初めての開催、そして3年生であることを考えて、今回は興味を持って聞いてもらえる講座内容にしました。伝えたいことは、認知症は高齢者がかかりやすい病気であること。病気になっても心はみんなと一緒に楽しい、悲しい、うれしい気持ちを持っていること。高齢者にやさしく接して欲しいということです。高齢者って何歳からなの?認知症ってどんな病気なの?とクイズ形式の質問をしたり、実際に困っているおじいちゃんに登場してもらって、助ける方法や接し方を考えました。そして目を輝かせてクイズの答えに手を挙げ、おじいちゃんの登場に歓声を上げながら一生懸命助けようとする姿にキッズサポーターの誕生を確信しました。豊南小学校は、福祉活動にも取り組んでいて、コロナ禍の際には彩幸へ応援メッセージの花束を贈ってくれました。(1階廊下に掲示中です)また、以前豊南児童クラブで行った認知症キッズサポーター養成講座を覚えてくれた子もいて「オレンジリングを持ってやるよ。」と教えてくれました。これからも、こうした小さな縁を積み重ね、絆を紡ぎながら彩幸地域包括支援センターは地域の中に在り続けたいと思っています。



豊橋 ケアハウス 彩幸 施設だより ~ケアハウス 日々雑感~



ラッパ水仙の花が咲き始めました。黄色い花弁が雨に濡れてとてもきれい。春が一日ずつ近づいています。

感染症などに注意をはらう日々が続いていて、行事やクラブも手探りで少しずつ再開していますが今年はどうでしょうか。

手芸クラブの一環として、12か月の押し絵を作ってみました。めぐる季節をちょっとでも感じていただけたら…。皆さん見に来てくださいね。

豊橋 彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 施設だより

デイサービスでは、コロナ禍での制限を少しずつ緩和し、レクリエーションへ力を入れています。3月は「お花」をテーマに、フロアの飾りつけ、お出かけ行事、作品作りを行いました。



お花見!



フロアの飾り



叩き染め

老津町池上にある「琉球桜」を見に行きました。見ごろは河津桜と同じで3月上旬頃です。お花が垂れ下がって咲くのが特徴で、下から見上げて観ると、とても可愛らしく咲いているのが分かります。

フロアも桜で満開にしました。とても華やかですが、華やか過ぎて良い意味で落ち着かないような…。季節に応じてフロアの飾りつけをしています。5月は藤の花やアジサイ等、いつでも明るいフロアを目指しています。

ガーゼハンカチに、お好みの生花を挟み、トンカチで「パンパン」。綺麗に染まりました。個包装をしたら、お店で売っているかのような作品が出来上がりました。